

勸善
懲惡

讀切講釋

司馬相英が自ら又々として作て
 身を戒しめ卓文君を惜み
 遊ひあはに青山鉄山あつた
 時の威光を播ち浮世の
 叶ふを意思新より又々として
 噴や血の奸計をおたつた
 かくと雨露あふ置ちとせらる
 身の大難探の深れつ井筒
 身を巻上りめふまけをぬその玉の緒も。

去せし心き
 刃の霜と切き恨みへ秋風ふ
 嘯く魂の青山小執着終小其
 屋鋪を断滅あせり懼るべき
 慎へたハ色情の
 迷ハのひくろあせ

青山鉄山

花源記

徐若友

司馬相英

彫政七

